

Nagoya Immunology Network



名古屋市立大学
光が切り拓く新たな研究開発拠点形成

<https://ncu-light.jp/>

Research Seminar

2025. 9. 8. MON

名古屋市立大学病院3F 大ホール
Main Auditorium, Nagoya City University Hospital 3rd Floor

17:00 - 18:30

瀬戸口留可先生 Ruka Setoguchi, Ph.D.

東京大学大学院薬学系研究科免疫・微生物学教室 准教授

MHCクラスII分子によるCD8T細胞制御機構

Control of CD8 T cell responses mediated by MHC class II molecules

瀬戸口先生は、坂口志文研で制御性T細胞の生存にIL-2が重要であることを見出しました (J Exp Med 2005)。その後、CD8キラーT細胞の分化制御の研究を開始され、成果を上げられています (Science 2008; Nat Commun 2024など)。

座長：山崎小百合教授

堀昌平先生 Shohei Hori, Ph.D.

東京大学大学院薬学系研究科免疫・微生物学教室 教授

制御性T細胞の本質に迫る：転写因子Foxp3の役割を再考する

Rethinking Foxp3:

A master regulator of regulatory T cell identity and function

堀先生は、Foxp3が制御性T細胞の分化と機能に重要な転写因子であることを坂口志文研で発見されました (Science 2003)。制御性T細胞研究の世界第一人者のお一人です (Science 2009; Immunity 2017; Nat Rev Immunol 2021など)。

座長：森田明理教授

●参加費無料 Admission free ●事前参加登録不要 No pre-registration required ●現地開催のみ On-site only

名古屋市立大学 卓越研究グループ支援事業

主催：医学研究科加齢・環境皮膚科学分野 森田 明理

Host : Prof. Akimichi Morita, Department of Geriatric and Environmental Dermatology

問い合わせ先/Contact → 免疫学分野

Mail : Immunol@med.nagoya-cu.ac.jp

医学研究科免疫学分野 山崎 小百合

Host : Prof. Sayuri Yamazaki, Department of Immunology

学生さん, 若手研究者や医師の皆様もご参加をお待ちしております!

